

クラブ自治権 (the substantial autonomy) の危機 (1)

2750 地区 PDG 新藤信之 (東京立川こぶし)

昨年のロータリーの友 10 月号の友愛の広場に、明石東RC在籍の多胡謙吾氏の「在籍 55 年に思う」という小論が掲載されました。この小論に凝縮された氏の卓越したロータリー歴史観には、共感を遥かに超えて頭の下がる思いがしました。その小論の最後に、「『決議 23-34』にはクラブが社会奉仕活動を自主的に選ぶ絶対的権利があり、RIはそれを命じたり禁じたりしてはならないことが明記してありましたが、2019 年『手続要覧』では『命じたりしてはならない』が突然削除されました。(中略)果たして今後、クラブの自主権は守れるのでしょうか」という悲憤にも似た指摘がありました。

その後、2650 地区刀根 PDG から、ロータリー章典上では 1999 年版で既に変更されていて、少なくとも20年間はロータリー章典と手続要覧の記述が異なっていたということになります、とのご教授をいただきました。

ロータリー章典上の削除は、いつ誰がどのような手続でしたか定かではありません。手続要覧上での削除は、最近の理事会議事録には見当たりませんので、理事会決定ではないと推測します。後ほど言及しますが、クラブの自治権との関連としては、2016 年 4 月理事会決定 157 号で、ロータリー章典 26.030.RI 管理運営を削除し一部第2章クラブ 8.010.へ移動したことがあります。この削除と移動は、当時の一連のロータリーの章典の見直しの中で、ほとんどのロータリアンが気付くことなく、理事会が決定したものの一つです。ロータリー章典は 2009 年 6 月から 2017 年 6 月の 8 年間、英文だけのものでした。2010 年理事会決定 39 号で、理事会は、事務総長にロータリー章典を再検討(Review)するよう要請しております。そして、第1章「一般規定」を除き、2017 年 1 月理事会決定87号を最後に、すべての章が見直され、更新されました。このロータリー章典の見直しの期間には追加・変更されたものや削除された重要条項が数多く含まれていました。具体的事例は、ここでは割愛しますが、私はこのことを「ロータリー章典、空白の8年間」と呼んでいます。

理事会決定がロータリー章典に掲載されるまでの手続は「ロータリー章典 49.050.方針の法典化」に規定されています。問題は、これらの追加・変更・削除の具体的な文言が、その都度、RI理事会議事録に補遺資料として添付されればよいのですが、ほとんどが非公表で添付されません。後でロータリー章典上の掲載を確認しなければなりません。この意味で、RI理事会決定は英文以外では知らせられないまま、非公表に近い形で変更され続けたと言っていいでしょう。

2010 年 11 月決定 44 号で、2008 年 11 月決定 58 号「奉仕の機会に関する項目」の削除に続き、常設プログラムから「世界社会奉仕プログラム」を削除しました。一見、何でもないように思われますが、社会奉仕事業をする上で、クラブの「自主的な選択権」を奪ったという意味で、これも「クラブ自治権」に関係する削除と言っていいでしょう。

このスライドが、2016 年 4 月理事会が削除、一部移動したクラブ自治権に関するロータリー章典上の条文です。

ロータリー章典 2009年 6月

第4章 第26条 国際ロータリー

2016年4月RI理事会会合決定157号で削除・移動された文言

26.030.RI管理運営
RIの管理運営は、加盟クラブと個々のロータリアンによる奉仕の理想の適用を通じてロータリーの綱領を推進する限りにおいてのみ、重要である。
RIの管理運営の根拠にある基本原則は、加盟クラブの大幅な自主性である。
管理運営に関する構成上および手続上の制約は、ロータリーの基本的かつ独自の特徴を保つのに必要な最小限にとどめられている。この規定の範囲内で、特に地元レベルでは、RIの方針の解釈と実施において最大限の柔軟性が認められている。
ロータリーを通じて国際理解、親善、平和の理念を推進するには、世界中の加盟クラブの国際的親睦の保持と推進が極めて重要性であることが広く認められる必要がある。これは、一国や複数国のクラブのグループに基づくのではなく、RIに対する加盟クラブの直接的関係と共通の責任に基づくものである(1998年6月理事会会合、決定348号)。
注)上記の1段目、4段目の文章が削除、2段目、3段目は第2章クラブ8.010.へ移動

「決議 23-34」以来、国際ロータリー、ロータリークラブが歴史的・伝統的に守ってきた「クラブ自治権」を文章化したものです。

1963-64 年度のRI理事会は 1963 年 11 月理事会決定90号で「国際ロータリーの基本方針」を採択しました。この「基本方針」を次回紹介しますが、このスライドとほとんど同じ文章です。(1964 年手続要覧 P.7)。2016 年理事会は、この「中興の文章」を、いとも簡単に削除、移動してしまっただけです。この理事会決定の持つ意味を明らかにしなければなりません。

2021.04.12 (つづく)